

第3学年 ハヤチネタイム学習活動案

日時 平成17年 9月16日(金) 5校時
 児童 男子3名 女子6名 計9名
 授業者 佐藤 奈保子
 場所 3年教室

1 単元名 ぼくは、わたしは、内川目 博士

2 単元について

本単元は、内川目の自然について学習し、その中で興味をもったことについて、追究していく活動をとおして、自分たちの住んでいる地域のよさに気付き、ふるさとを大切にしようとする心情を育てることをねらいとしている。本校の学区である内川目地区は、岩手県や大迫町で天然記念物に指定されている巨木があったり、動植物の種類が多かったりするなど、豊かな自然に囲まれている。また、土地や気候を生かした産業として、ぶどうの生産も行われており、内川目地区を含む大迫町のぶどうの生産量は、岩手県内でも有数である。児童は、常にその中で生活しているために、その素晴らしさについて実感することが少ない。内川目の自然について学習をすることにより、自分の住んでいる地域の自然の豊かさやそのよさに気付くことができると考える。

児童は、1学期の「内川目遊びマップを作ろう!」の学習では、遊びを中心に体験したことや、インタビューをすることにより得た情報をもとに、内川目地区において自然とかがわって遊ぶことができる場所や、その遊び方について、調べ、まとめることができた。この活動をとおして、ほとんどの児童が内川目の自然に関心をもつことができたが、そのよさについて気付くことができた児童は多くはなかった。また、遊ぶことができる場所を調べていく中で、内川目に流れる川の名前や、地区名とその位置などについて、初めて知ったという児童が多かった。

そこで、本単元では、遊びにこだわらず、内川目地区の自然に目を向け、土地の様子、土地の使われ方、動植物、産業などについて、大まかにつかみ、その中で興味をもったものについて、博士になることができるように学習し、友だちや祖父母に伝えようとする目的意識をもたせる。調べさせたり、探検させたり、インタビューをすることにより情報を得させたりするなどの活動を行い、内川目地区の自然に関心をもたせ、そのよさに気付けたい。中間発表会では、グループごとに発表し、目的にあった発表になっているか、また、他のチームのよいところはどこかを振り返る場を設定し、その後の活動をとおしてさらによいまとめの発表になることを目指したい。「広める」段階では、さらに学びを自分自身のものとするために、祖父母への発表会を開き、自分の言葉で発表させたい。中間発表会で明らかになったことをさらに追究し、聞き手に分かりやすい発表になるように、形態の工夫をしていくことにより、学習したことが自分のものとなり、内川目の自然のよさについて認識を深め、大切にしようとする心情を育てていくことにつなげていきたいと考える。

3 単元のねらい

< 気づく力 >

- ・内川目の自然について、自分が興味をもったことを調べる学習活動を行うことにより、内川目の自然のよさに気付くことができる。

< 課題解決の力 >

- ・内川目の自然について、課題を決め、調べ方、まとめ方を、友だちや先生のアドバイスを受けながら自分で考えることができる。
- ・友だちとの話し合いをとおして、課題について、足りないところやさらに調べたいことを明らかにしながら、追究を進めることができる。

< 表現する力 >

- ・調べた結果から、分かったことや明らかになったことを、聞き手に分かりやすく、形態を工夫して発表することができる。

4 単元の評価規準

観 点	評 価 規 準
気づく力	内川目の自然について、自分なりの発見や疑問を友だちと話し合い、調べたい理由を明らかにしながら課題を決めることができる。 中間発表会を振り返り、さらに調べたいことを見付けることができる。
課題解決の力	友だちや先生のアドバイスを受けながら、調べ方、まとめ方を自分で考え、課題を追究することができる。 中間発表会を振り返り、足りないところやさらに調べたいことを明らかにしながら、追究を進めることができる。
表現する力	調べて分かったことを、自分の言葉で、聞き手に分かりやすく中間発表を行うことができる。 内川目の自然について、聞き手に分かりやすく、形態を工夫しながら発表することができる。

5 単元活動計画 (計30時間)

[]は時数

段階	時	ねらい・学習活動・内容	評価
気づく	(5)	<p>内川目の自然について知っていることを話し合ったり、調べたりすることにより、これから調べ学習を進めていく内容に関心をもつことができる。</p> <p>(1)内川目ってどんなところ？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内川目の土地の様子、土地の使われ方、動植物、産業などについて、知っていることを話し合う。〔1〕 ・内川目の自然について調べる。〔4〕 	< 気 - >
いただく	(3)	<p>話し合ったことや調べたことをもとに、自分の調べたい課題を決め、調べる計画を立てることができる。</p> <p>(1)個人課題を決めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内川目の自然について、みんなで調べたことをもとに、自分が調べたいことを見付ける。〔1〕 <p>(2)学習計画を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人テーマからグループ分けをする。〔1〕 ・個人テーマに沿って、調べ方・まとめ方を考える。〔1〕 	<p>< 気 - ></p> <p>< 課 - ></p>
活動する	(14)	<p>計画に基づいて、進んで調べ学習をすることができる。</p> <p>(1)自分が決めた課題について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ方法で、課題を追究する。〔7〕 <p>(2)調べてわかったことをまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に分かりやすいような言葉を使ってまとめる。〔5〕 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(3)中間発表会をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで調べて分かったことを、自分の言葉で、聞き手に伝わるように発表する。〔1〕 本時 ・質問を受けたり、感想を聞いたりすることにより、さらに調べたいことを見付ける。〔1〕 </div>	<p>< 課 - ></p> <p>< 表 - ></p> <p>< 気 - ></p>
深める	(6)	<p>足りないところやさらに調べたいことを明らかにしながら、追究を進め、理解を深めることができる。</p> <p>(1)見直しをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間発表会を振り返り、調べた内容を見直して、修正したり、さらに付け加えたりすることができる。〔6〕 	< 課 - >
広める	(2)	<p>調べてまとめてきたことを、祖父母が関心をもつように、形態を工夫して、発表することができる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(1)発表会をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手が分かりやすいように、写真やクイズなど、発表の形態を工夫する。〔1〕 ・内川目 博士認定会をする。〔1〕 </div>	< 表 - >

「注」 はねらい、()は学習活動、・は内容、ゴシック体の部分は学団の重点目標を示す。

6 本時の学習

(1) 仮説とのかかわり

本時は仮説1にかかわって、調べてきたことを深めるために、児童が互いに交流しながら、これまでの学習を振り返る中間発表の場面である。ここでは、資料などの言葉をそのまま発表するのではなく、自分の言葉で分かりやすく発表することを児童に意識させたい。また、この時間で出される質問や意見が、この後の調べ学習の内容をより明確にし、よりよい単元のまとめに結び付くと考えることから、質問や意見を多く交流させるために時間の保障を行いたい。さらに、聞き手には、交流終了後すぐに質問・意見を書かせ、多くの質問や意見を引き出すようにし、発表者が後で参考にできるようにさせたい。まとめる力や発表力に個人差があることを考慮し、グループでの発表形式を用いるが、一人一人が調べてきたことをしっかりと発表できるようにさせたい。

(2) 学習のねらい

- ・友だちから、自分の発表に対して意見や質問を出してもらったり、友だちの発表を聞いたりすることから、さらに調べていくべき内容を見付けることができる。(気づく力)
- ・調べて分かったことを、自分の言葉で、聞き手に分かりやすく発表することができる。(表現する力)

(3) 学習の達成目標

- ・友だちの発表に対して、質問や意見を出すことができる。
- ・これから調べていくべき内容を、しっかり見付けることができる。
- ・自分の言葉を使い、話す速さに気を付けて発表することができる。

(4) 本時の展開

(・は活動のねらい、*は教師の支援、 は評価を示す。)

段階	学習活動の流れ	ねらい・支援・評価
導入 5分	1 学習のめあてをつかむ。 めあて 友だちの発表をよくするために、 質問や意見を出し合おう。	・本時のめあてをつかませる。 *本時の流れを知らせるとともに、お互いの学習をよりよくするために、質問や意見を出し合い、これからの活動に生かしていくための、大切な時間であることを確認する。 めあてを復唱し、発表の視点、聞く視点を発表しようとするのができたか。
展開 30分	3 グループごとに発表を行う。1グループごとに質問や意見を出し合う。 (1)巨木博士チーム (2)昆虫博士チーム (3)ぶどう博士チーム	・自分の言葉で、速さに気を付けて発表させる。 ・友だちの発表に対して、わずかなことでも質問や意見を出させる。 *緊張してうまく表現できない児童には、友だち同士で助け合うように助言をしたり、教師が手伝ったりする。 *発表や出された質問・意見について、認めたり、助言をしたりする。 自分の言葉で、速さに気を付けて、発表することができたか。 質問や意見を出すのができたか。
終末 10分	4 本時のまとめをする。 (1)質問・意見カードを見て、自分たちが調べていくべき内容について知る。 (2)次の時間の内容について知る。	・受け取ったカードを見て、これから生かしていくことを確認させる。 *カードの内容について認めたり、助言したりする。 これから調べていくべき内容を、しっかり見付けることができる。